

# 慈光

## 仏教の祈り 一見えないウイルスとの闘い

令和2年は、多くの人々が新型コロナウイルスに振り回された年だったのではないでしょうか。例えば、緊急事態宣言が発令され、外出の自粛、テレワーク、学校のオンライン授業等々：挙げたらキリがありません。今まで当たり前に行つていたことができないというストレスを実感した方も多くいるのではないか。

しかし、今回のような感染症との闘いは今回がはじめてではありません。それは、天然痘、ペスト、コレラ、スペイン風邪、SARS等々：感染症は幾度となく、人類に猛威を振るってきた歴史があるからです。

そこで今回は、日本人がどのよう

に「大般若会」では「大般若經」というお経を用いるのですが、このお経は六〇〇巻という大変長いお経です。ちなみに、皆さんにも馴染みのある「般若心經」も実はこの中に収められています。

また、日本において疫病除滅のために「大般若会」が開催されたのは七七〇年（宝亀元年）が最初とされています。

一方、同時代には、僧侶が唱えているお経の力だけではなく、一般の人々の力も結集させて疫病を防ごうと考えた方がおられます。それは聖武天皇であり、篤く仏教を信仰していたことで知られています。それは、疫病や災害を抑え込むために各地に国分寺を創らせ、さらには当時の都である奈良に巨大な仏像を造立させました。皆さまもご承知の通り、この仏像が「東大寺の大仏（盧舍那佛）」であり、疫病を鎮める祈りの中心地として造立されました。また、この大仏を造るために、優秀な僧侶を集め、経典の研究をさせたという逸話も残っています。

第75号  
2021.1.1発行

宝嚴院  
川口市安行慈林954  
TEL048(281)3321  
FAX048(281)3305



が制定した「十七冬憲法」にも「篤く三宝を敬い（三宝とは仏・仏の教え・教えを守る人々）…」という文章が出てくることからも分かること思います。

そして時代は移り奈良時代になると、「天然痘」の大流行が起これ、日本佛教界と疫病との歴史が始まります。



大般若会の様子 提供・戸田市平等寺

# 初薬師大護摩修行(ご縁日)

令和3年1月8日 午後12時半から法話 13時より護摩修行

## 慈林薬師大護摩

慈林薬師では毎月8日ご信徒の諸願成就を祈る御護摩を修法しています。御護摩の靈験利益は、数限りなく古来多くの方から信仰をいただいております。

### おまかせ御護摩とは

薬師如來を御本尊とし、その前に壇を設け、さまざまな供物を捧げ、護摩木という特別なまきを焚いて御本尊に祈る真言宗の秘法です。御護摩の火は智慧を象徴し、まきは煩惱を表わしています。御護摩の祈祷を通じてまきという煩惱を薬師如來の智慧の炎で焼きつくし、ご信徒の願いが清淨な願いとして高まり成就することを祈ります。

### ◆お護摩料◆

特別大護摩料	30,000円以上
大護摩料	10,000円
護摩料	5,000円
護摩料	3,000円

### ◆護摩願意一覧◆

家内安全	工場安全
商売繁盛	作業安全
身体安全	工事安全
厄災除	旅行安全
心願成就	開運満足
安産満足	入学成就
身上安全	合格成就
火難消除	学業成就
災難消除	就職成就
当病平癒	交通安全
無病息災	必勝祈願
手術成就	方災消除
負傷平癒	六三除
社運隆昌	虫封
事業繁栄	御札

(1ページより続く)  
以上大まかに、仏教界の主な疫病除滅に対する活動である「大般若会」と「大仏の造立」をご紹介いたしました。もちろんそれ以外にも、お護摩祈祷や疫病封じ(疫病退散)のお守りの頒布など、さまざまな活動を行っています。

それは今日でも同様に、コロナウイルスが流行り始めた頃から、全国各地の神社仏閣で早期終息

を願い、神仏への祈りが捧げられました。当寺でもお護摩の際には終息を願い、そしてお守りの頒布も併せて続けています。



慈林薬師  
疫病除滅祈願お守り

多くの人々が各々の立場でコロナの終息に向けて頑張れるよう、仏教界は今後も祈り続けていきます。

来年が皆さまにとって良い年になります。

なるよう祈念して…。  
合掌

(副住職 憲寿記)

## 慈林薬師体験夏祭り 中止のご報告

一昨年から始めた体験夏祭りですが、今年はコロナウイルス感染拡大の影響により、やむなく中止とさせていただきました。

徐々に盛り上がりを見せていた体験夏祭りですが、やはり各体験ともに密を避けられず、さらには流しそうめんなどの飲食を伴うものもあり、参加いただく方々の安全を考慮しての決断です。

この体験夏祭りが来年以降、より良いものになるように企画を練り上げてゆきますので、ぜひご参加いただきたいと思います。



写経体験



流しそうめん体験